２０２４年度の事業報告書

２０２４年４月１日から２０２５年３月３１日まで

認定特定非営利活動法人　京都 DARC

１　事業の成果

■障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス

２０２３年度に引き続き、共同生活援助（介護サービス包括型）事業をネクサス１，２にて、自立訓練（生活訓練）事業をデイセンター・マハロにて行った。２０２５年３月末のグループホーム・ネクサス１，２への入寮者は１１名、デイセンター・マハロへの通所登録者は１４名であった。

■京都 DARC での相談援助事業

薬物依存症者及びその家族の相談援助事業は薬物依存症者４６件、薬物依存症者の家族３１件、関係者１０件の電話相談や来所面談等を行った。家族カウンセリングは、５８件であった。家族プログラムは１２回行い、参加者平均は８.６名であった。

■デイセンター・マハロでの依存症当事者回復支援

毎週月～土まで、依存症当事者支援として、主に下記のプログラムを行った。

① ミーティングプログラム

依存症からの回復を目指す当事者が、意欲や行動を継続できるよう支援するために、お互いの体験を分かち合うミーティングを１日２回実施した。

② 調理プログラム

利用者の生活自立支援の一環として、調理プログラムを継続的に実施した。また、薬物などの依存物質を使用しない日常生活の再構築を目的に、季節感を取り戻す取り組みとして、季節ごとのメニュー作りにも積極的に取り組んだ。

■デイセンター・マハロでの回復プログラム（ボランティア等）と地域交流

回復プログラムの一環として、農作業やボランティア等の様々な事業を行った。

農作業は、以前からお世話になっている亀岡市の農家の方の畑や田での野菜や米作りを９回、綴喜郡井手町の畑をお借りしてニンニクや菊芋等の栽培を１６回行った。

ボランティア活動については、喫茶店等でのボランティアを３６回、さらに週１回ネクサス１近くの公園・道路の清掃ボランティアを行った。また、東九条清掃ボランティア並びにセカンドハーベストの食料品配達等のお手伝いを通して、地域との交流を深めた。

地域のイベントである東九条春祭り、向島元気バザール等のイベントにて、たこ焼きやフランクフルトの飲食販売を行い、地域との交流を深めた。さらに、京都文教大学の学生や深草１００円マルシェ等で、子供たちとアクセサリー作りを行った。

■京都府薬務課、京都市との共同事業

昨年度も京都府薬務課との共同事業を行った。薬物依存症の電話相談「きょう-薬物をやめたい人-のホッとライン（薬物依存ホッとライン)」(京都 DARC 内に設置と広報している）では、１１件の電話相談があった。京都府北部の薬物依存症者に対する北部移動相談事業（舞鶴市）を１２回、「若年者向け薬物再乱用防止プログラム（明日への扉を今開こう!
OPEN)」を１５回行った。

また、京都市との共同事業である、「京都市薬物依存症再発防止プログラム（KEEP)」の講師派遣は、１８回行った。

■薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業

昨年度は京都 DARC２１周年記念フォーラムを開催した。当事者、家族、保健・福祉関係者・教育関係者・司法関係者・地域住民・学生等、約２５０名の参加があった。また、新たな啓発の形として、「京都 DARC の日常紹介動画」の作成を始めた。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
⑥障害者総合支援法に基づく事業	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	共同生活援助事業（介護サービス包括型）ネクサス１・２運営	３６５日	ネクサス１・２	７	（平均） 9.8名/日	35,712
	①薬物依存症回復支援施設の運営事業 ③薬物依存症者への生活支援事業	自立訓練（生活訓練）事業 デイセンター・マハロ運営 ミーティング、レクリエーション、昼食作りなどのプログラム	月～土 9:30～ 17:00 ３１３日	デイセンター・マハロ	６	（平均） 9.6名/日	40,119
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業		書籍販売	随時	京都ＤＡＲＣ	２	薬物依存症者とその家族・関係機関職員等	０
②薬物依存症者及びその家族への相談援助事業		薬物依存症者相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１３	46件/年	1,148
		家族・関係者相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１０	３１件/年 薬物依存症者家族 １０件/年 関係者	
		ホッとライン相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１０	３件/年 薬物依存症者 ７件/年 薬物依存症者家族 １件/年 関係者	
		インターベンションプログラム	随時	各拘置所・留置施設	１０	１５件/年	
		家族プログラム	１２回/年	京都ＤＡＲＣ	１	（平均） 8.6名/回 薬物依存症者家族	
		家族カウンセリング	随時	京都ＤＡＲＣ	１	58件/年 （82.5時間）	
		京都府北部薬物依存症者に対する移動相談	１２回/年	舞鶴医療センター	５	（平均） 3.9名/回 薬物依存症者・関係機関職員等	
		刑務所等における薬物離脱教育指導講師派遣	29回/年	各刑務所・拘置所	５	薬物依存症者	
		更生保護施設盟親健康学習会講師派遣	8回/年	更生保護施設盟親	１	（平均） 7名/回	
		OPEN「若年者向け薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	15回/年	キャンパスプラザ	２	（平均） 4名/回	
		ＫＥＥＰ「京都市薬物依存症再発防止プログラム」講師派遣	18回/年	京都市こころの健康増進センター	１	薬物依存症者	
		「薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	20回/年	京都保護観察所	２	薬物依存症者	
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業		ニュースレター発行	６回/年	京都ＤＡＲＣ	４	１３００部/回	
		フォーラム開催	１回/年	京都府内	１５	２５０名/回	
		出張フォーラム開催	０回/年	京都府内	０	０	
		各種研修会等講師派遣（関係者・PTA・福祉等）	5回/年	全国	６	１００名/回	
		中学校・高校・大学への講師派遣	9回/年	関西圏各学校	６	中学・高校・大学の生徒教員及び保護者等約１５０名/回	
		他機関との協力・連携（市こころの健康増進センター・府精神保健福祉総合センター等）	12回/年	全国	６	薬物依存症者、関係機関職員	
		ホームページ上でのダルク日常紹介動画投稿	随時	京都DARCホームページ	２	薬物依存症者、関係機関職員	
⑤薬物依存症者の社会復帰促進事業		喫茶店等でのボランティア	36回/年	バザールカフェ	３	（平均） 3.5名/回	
		地域でのボランティア	37回/年	京都市	１０	利用者	
		就労相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１０	利用者	
		研修会参加	３回/年	全国	１０	職員、利用者	
		農作業体験	９回/年	亀岡市	４	（平均） 6名/回	
			１６回/年	綴喜郡井手町	４	（平均） 6名/回	
⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業		施設内研修	１２回/年	京都ＤＡＲＣ	４	（平均） 10.8名/回 職員、関係者	
		施設外研修	４回/年	全国	１０	（平均） 1.5名/回 職員、関係者	

（２）その他の事業　当該事業年度は実施しなかった。